事例No.	885
公表年度	R1
団体の属性	一般市
団体名	静岡県掛川市

事例区分	一般行政

タグ	・地域運営組織 ・教育・子育て ・公共施設活用

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

森林経営管理推進協議会の設置と譲与税啓発講演会の開催

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

木材利用・普及啓発

静岡県　掛川市（森林経営管理推進協議会の設置と譲与税啓発講演会の開催）

わがまちの税活用方針

- 本市は全域面積26,569ha、森林率約42%、人工林率約62%で、北部は人工林が広がる山々が、中南部は里山林が広がり茶畑と森林がモザイク状に入り組んでいる。
- 市内には森林組合とNPO法人が森林整備の担い手として存在しており、主に北部の人工林地域で活動していることから、我が市では、森林環境譲与税を活用し、中南部地域も含めた市内全域で新たな森林施策に取り組む。
- 今年度当初から、地域林政アドバイザーとして林野庁職員OBを雇用し下記施策を進めている。
- 掛川市森林経営管理推進協議会を設置し、使途の検討及び合意形成に向けて議論している。
- 市民に対して、森林経営管理制度、森林環境譲与税の周知を図り、意識を醸成させることを目的に「森の講演会」を開催した。

主な取組・概要

【掛川市森林経営管理推進協議会】

（予算額（うち譲与税）：190（190）千円

・市が10人の協議会委員を委嘱し、９月から月に１回程度、譲与税の使途について議論を開始
・協議会で「活用ガイドライン」を検討中
・譲与税の使途について掛川市の歴史や背景を踏まえアイディアを出す
・下記「森の講演会」を市と共催し運営



【森の講演会】

（予算額（うち譲与税）：810（810）千円

・10月5日、富士大学 学長 岡田秀二氏を講師に招き譲与税の活用の在り方について市民に提案
・講演会と併せて、薪ストーブや木のおもちゃを展示し、子育て世代も含めた市民の関心を深めた。



工夫・留意点、特徴等

・10人の協議会委員は、林業関係者、教育関係者、民間企業に勤める市民代表など多彩な立場の人を選出。また、女性を５人選出して、これまでの森林・林業界の発想の転換を期待
・市は、協議会に森林環境譲与税の使途等について諮ることで公平性を担保
・今年度中に森林環境譲与税の使途についての方向性を見出し、令和２年度から市の取組を加速

・掛川市に根付いている「報徳の精神」、「協働のまちづくり」の理念を念頭に森林環境譲与税の使途について提案することで、森林の公益性について理解を深める
・市民が森林に親しみを感じるように、講演会場外に、家族や子どもが楽しめる催しもの（薪ストーブ実演、薪割り体験、木のジャングルジムの体験、森のようちえんの見学会等）を用意